

インド・ブータンの旅

八月十九日から二十八日の旅の報告です。妙江先生はじめ一行八名での旅でした。デリーでは片山光昌さんが迎えてくれました。ラディソンホテル泊。二十日、デリーからパトナへ飛行機で移動。パトナから車でブダガヤへ。支院にてインド留学中の片山妙晏上人も加わって御経納受。二十一日、霊鷲山参拝。二十二日、大仏塔参拝。サンジャイさん宅訪問。午後パトナからデリーへ移動。デリー泊。二十三日、ブータン、パロ空港へ、ブータン尼僧財団のタシ・ザンモさんほかの出迎えがありました。ティンミ・ティンレイ首相と首相官邸で面会。法王と面会。図書館、民族資料館見学。二十五日、タクツァン寺院参拝。参拝に行かれなかった一行は別の場所を訪問。首相公邸でアムダの難波妙さんも参加されて夕食会。二十六日、昼間は郵便局などで買い物、夕方はペマさん主催の夕食会。二十七日、パロからデリー、シンさんが出迎えてくれました。午後デリー観光後、シンさ



安岡 泰樹

んと片山光昌さんの見送りを受けて成田へ。二十八日、成田着。下段の二枚の写真はブータンの新聞二紙に載った記事ですが、今回の訪問は救急車贈呈関連のことと、ブータンの尼僧の地位向上への協力要請に関連してのものでした。

合掌



8月21日ブダガヤインド分院にて

発行所
〒701-0205
岡山県岡山市南区
妹尾3047-7
太生山一心寺
電話 080-3892-7061
FAX 086-281-3341

A visit from Japan



>> The PM with her eminence Yumiko Nakashima

Thimphu: Prime minister Lyonchhen Jigmi Y. Thinley met with her eminence Yumiko Nakashima of Japan who is on a five-day visit to the Kingdom. She will visit Bhutanese religious sites and nunneries, and call on his holiness the Je Khenpo. Accompanied by professor Pema Gyalpo, the international relations officer of Japan, her eminence Yumiko Nakashima informed the prime minister of her interest in supporting nunneries in Bhutan and bringing all Buddhist societies together. While in Bhutan she will check on the arrival of ambulances donated by the city of Okayama during the prime minister's visit to Japan in 2008.

Support for Nunneries

Her eminence Yumiko Nakashima has proposed supporting the nunneries in Bhutan, with a hope of bringing all Buddhist societies together. Yumiko Nakashima who is on a five-day visit to the kingdom and is accompanied by Professor Pema Gyalpo, the International Relations officer of Japan met with Lyonchhen Jigmi Y Thinley yesterday. Her Eminence who will also be meeting with His Holiness the Je Khenpo is in the country to check the arrival of the ambulances donated by the city of Okayama that was committed during the prime minister's first visit to Japan in 2008. Her eminence had donated the transportation charges of the ambulances from Okayama.



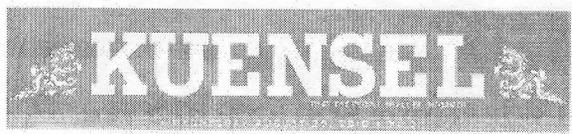
クエンセルは最大の新聞で、インターネットで見える KUENSEL ONLINE もあります。この記事も掲載されています。URLは <http://www.kuenselonline.com/>

平成22年
第163号

9月
ながつき
長月
一白水星



<http://www.bhutantoday.bt/>
先月・今月分は閲覧できません



ブダガヤ分院参拝報告とお礼

片山 妙晏

八月十九日にブネーを出発し、ブダガヤに到着。二十日には、妙江先生ご一行様にお会いすることができました。ブダガヤは、非常に蒸し暑く、水や電力供給がストップという厳しい環境でしたが、妙江先生のご到着により、激しい雨が降り始め、温度が下がり、雨量が少しでも増えたのではないのでしょうか。日本はこれより暑いでしょうか。皆様、お体にお気をつけ下さいませ。

さて、妙江先生ご一行様到着後、分院にて皆で御経納受させて頂きました。先生を先頭にお上人や信者さんが同行されておりましたので、非常に力強い、気持ちよいお経でした。神様は勿論のこと、アムダピースクリニツクのクサラ先生や、デリーから派遣されて来られた女医のヴェーダ先生も妙江先生ご一行のご到着を心待ちにされていました。女医さんは、ヒンドゥー教の方で、ヴェーダの儀式に従って、マントラを唱えながら、花飾りを準備して出迎えられました。次の日は、霊鷲山参拝組と休憩組に分かれて自由行動です。二二日午前中も、大仏塔参拝組と休憩組に分かれ、昼前には、サンジャイさんの赤ちゃん、スイーティちゃんを見にお宅にお邪魔しました。眼が真ん丸で大きく愛らしいサンジャイさんに似た赤ちゃんでした。昼食後、先生一行はブダガヤを出発され、デリーに夜到着。次の日からブータンに出発さ

れました。私は、ブダガヤにてお別れをし、次の日の早朝出発し、夜にはブネーに到着です。あつという間の数日間でしたが、皆様にお会いできたこと、素敵な会話に出会えたことに感謝しました。

「どんなに辛いことがあっても、ブダガヤはお釈迦様の聖地であるから頑張れる」

これは、スリランカ出身で私達と同じ仏教徒であるクサラ先生の言葉です。実に、ブダガヤはインドの中でも最も貧しい地域であるのみならず、モンスーンの時期も雨が降りませんから、水不足。また、停電の毎日。夏の一番暑い五十度の中、扇風機も停止し、蒸し風呂状態の中で生活されていたということです。妙江先生も、どんなことがあっても、いつもお釈迦様が原点であつて、その視点でものを考え、行動されているとおっしゃいました。

また、

「妙論上人は、インドから帰った後、調子は如何ですか」

「比較的、元気です」

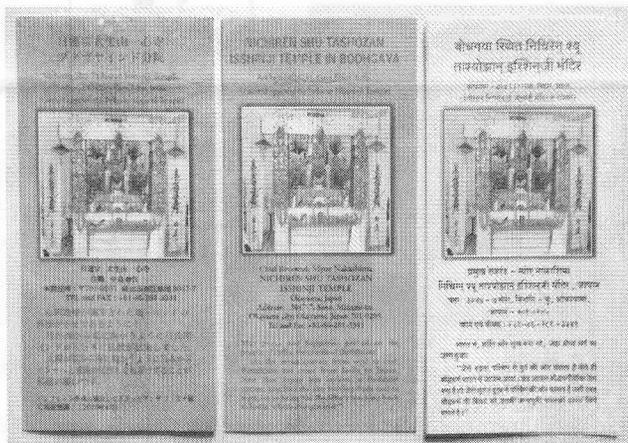
「神様からパワーを頂けるからでしょうね」

これは、田中領子さんと妙論上人の会話です。皆様、お盆等の行事が重なり忙しい中、インドやブータンの旅ということで大変お疲れであることがよく分かりました。しかし、このような

会話が気持ちよくかわせる「信仰」の素晴らしさを感じております。

妙江先生は、全身鍼だらけで、疲れた足を引きずりながら動き回ってらっしゃいました。このように妙江先生や泰俊上人におかれましては、日本での寺院建立と、ブダガヤ分院の建立が重なり、お忙しい中、何度もインドへ足を運ばれ、大変であったことがよく分かります。しかし、そのお蔭で、留学中に、分院へ参拝するご縁を結んで頂いたこと、また、二年間の間、インドで妙江先生に三度もお会いできたこと、信者様から励ましのお言葉、お手紙を頂いたこと、すべてに、心より感謝しております。ありがとうございました。

合掌



ブダガヤインド分院設置のパンフレット

片山妙晏上人が作成に取り組みされたアムダピースクリニツクの紹介を含んだブダガヤ分院設置用の日本語、英語、ヒンディー語パンフレット。3、4頁にその日本語パンフレットを掲載しています。

<AMDAピースクリニック>

AMDAは、1984年に創設され、世界30か国に支部がある国連NGOとして、“相互扶助にもとづいた世界平和”について国連への政策提言とその実現を目指しています。「困った時はお互い様」の相互扶助は、「存在に敬意を払う」人権と同じく世界平和実現に重要なコンセプトです。

「救える命があればどこまでも」のスローガンのもと、世界の難民や災害被災者救援医療活動に、AMDA多国籍医師団を派遣してきました。現在までに、60か国110件におよんでいます。

AMDAピースクリニックは、仏教の聖地であるブダガヤに、日蓮宗太生山一心寺別院に併設して開設されました。一心寺別院では、紛争や災害で亡くなられた方々の魂への祈りと世界平和への祈念をします。クリニックでは、インドの伝統医学であるアユルベーダ治療を実施するとともに、ガヤ医科大学と連携してビハール州の人たちのために救急医療や災害医療活動を実施する予定です。

ちなみに、AMDAの人道援助の三大原則を紹介します。

- 1) 誰でも他人の役に立ちたい気持ちがある。
- 2) この気持ちの前に、宗教、民族や国家の壁は無い。
- 3) 援助を受ける側にも、プライドがある。

アムダ代表 菅波 茂

本部住所：〒700-0013 岡山市北区伊福町3-31-1
TEL : +81-86-252-7700, Fax : +81-86-252-7717
Website : www.amda.or.jp